

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

京都府高体連ハンドボール専門部

日本ハンドボール協会が策定した「新型コロナウイルス感染症状況下での安全なハンドボール競技活動について～選手・スタッフ・関係団体のためのガイドライン～」を参考に、京都府高体連ハンドボール専門部は、以下の感染予防対策を策定しました。

1 大会参加について

- (1) 発熱等の風邪症状があれば参加不可。(原則 37.5 度以上は参加自粛)
- (2) 参加者が所属する学校・学級・部活動が、感染症のため臨時休業中の場合は参加不可。
- (3) 保健所により感染者の濃厚接触者と特定されるなど、感染拡大の可能性がある場合は参加不可。

2 会場に入場できる人(大会役員、学校関係者(管理職)、指導者、部員)について

- (1) 当該試合予定日の2週間前から「健康観察シート」を記入し、試合当日に持参すること。
- (2) 当該試合2日前から「行動記録シート」記入し、各自保管しておくこと。
- (3) 当該試合当日に「出場チーム 検温確認表」を記入し、入場時に大会受付に提出すること。
なお、入場時に本人確認ができない場合は、入場ができないことがある。
- (4) 顧問は必ず、部員とその保護者から大会参加の「同意書」を取り、当該学校長に提出すること。
- (5) 学校関係者、指導者は所属と氏名が確認できるネームフォルダーを付けること。
- (6) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会本部に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

3 試合当日の対策について

- (1) 手洗い・うがいの施行、咳エチケット、マスク持参と必要時の着用、室内の換気を行う。
- (2) 大会役員、チーム関係者など試合会場へ入場するすべての人は、会場入場の際は必ずマスクを着用すること。検温は起床後できるだけ速やかに行い記録すること。なお、37.5℃以上の熱、咳やのどの痛み、倦怠感、呼吸困難、味覚・臭覚に異常がある場合は入場できないこととする。

4 参加校の対策について

- (1) 熱中症対策にも十分に配慮することとし、水分補給を行うときは、各自のペットボトルや、使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回しなどを行わないようにすること。マスクを常時着用すると体力消耗にもつながるので着用の状況を適切に判断すること。
- (2) 観戦エリアと使用時間を確認し、ビデオ撮影、昼食・補食はエリア内で行くこと。発声を伴う応援は禁止とします。飲食は密にならず、周囲の人とは対面を避け会話は控えめにすること。利用後は座席等を消毒・除菌を行い、ごみは必ず持ち帰ること。(消毒する用具は各校で準備すること)
- (3) 更衣室は、マスクを着用して接触や会話など、人との間隔にも注意して短時間で利用すること。
- (4) 各学校における感染拡大防止対策については、併せて講ずること。